

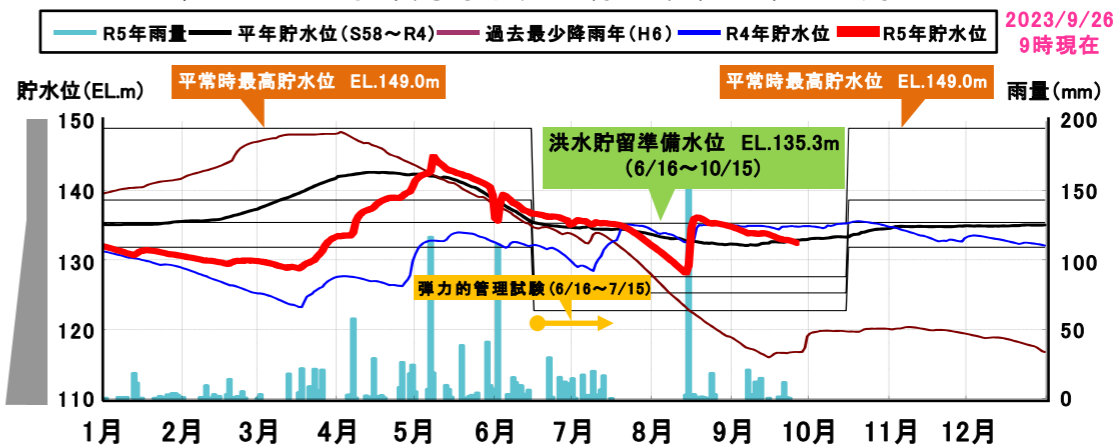
今月の一庫ダム



●雨量、貯水池状況、流況

8月の月雨量(ダム流域平均雨量)は212.2mmで、平年155.8に対し約136%でした。
一庫ダムの下流河川へは、利水基準地点虫生(むしゅう)へ19日間、約311万m³を補給しました。
9月28日現在、貯水率は約82.3%です。

一庫ダムの主な年間貯水位曲線と令和5年の日雨量

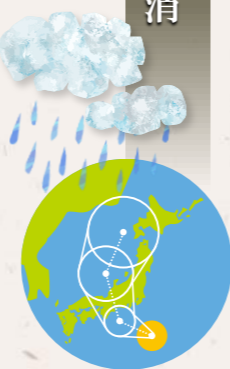


Topics

台風7号による濁水解消

猪名川流域では、7月中旬から降雨量が少なく、ダムから下流への貯留水の補給が続いたため、貯水位が低下し、濁水傾向でしたが、8月15日の台風7号の降雨により、ダムの貯水率を回復させることができました。

濁水傾向の際には、水道事業者の皆様には貯水量温存のために自主節水のご協力をいただいております。この場を借りまして、心より感謝申し上げます。



【貯水池の状況】



(令和5年8月14日)

貯水率: 62.0% (降雨前)
貯水位: EL 127.96m



(令和5年8月18日)

貯水率: 100.0% (降雨後)
貯水位: EL 136.12mまで上昇

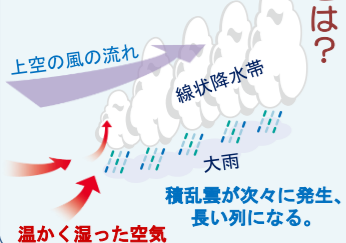


ワンポイント豆知識

線状降水帯(せんじょうじょうすいたい)とは??

線状降水帯は、次々と発生した積乱雲により、線状の降水帯が数時間にわたってほぼ同じ場所に停滞することで、大雨をもたらすもの。線状降水帯が発生すると、災害発生の危険性が高くなります。

10月も大雨や台風等の水害が発生しやすい時期のため、日頃から水害に備える必要があります。急激な気象変化や水害発生に十分注意をしましょう。



一庫ダムの地震防災訓練

一庫ダムでは、9月1日「防災の日」に、南海トラフ地震が発生したとの想定のもと、地震防災訓練を実施しました。訓練では、防災本部の設置、ダム施設の臨時点検による被災箇所所有無の確認、情報収集及び関係機関への連絡、想定被災箇所の応急復旧対策の実施等、地震発生後に実施すべきことやその手順を確認しました。

午後からはダム敷地内でドローンの操作訓練を行いました。初めて操縦する者は操作手順の確認のため、操縦経験のある者は技術向上のため、積極的に訓練に参加しました。管理所では、実災害時に速やかに被災箇所の有無や状況を確認することができるようドローンを積極的に活用していく予定です。



貯水池の状況 (R5.9.12撮影)



利水基準点 (虫生地点) の位置



ツイッターでも情報やお知らせをいち早く発信しています!

@jwa_hitokura



【おねがい】

ダムから普段より特に多くの水を流すときや、流す水量を急に増やすときは、事前に警報のサイレンやスピーカーを鳴らします。川の水が増えるので、すぐに川から出ましょう。

スピーカー放送やサイレンの音を確認



弁舎点検



防災本部



貯水池巡視



放流設備点検



堤体周辺点検



電気通信設備点検



ドローン操作訓練(実地)



ドローン操作訓練(座学)

